

4

観音寺市の主な古墳・古墳群



(1) 鹿隈かんす塚古墳

観音寺市最古の竪穴式石室の古墳

Q1 鹿隈かんす塚古墳とはどんな古墳なの？

A1

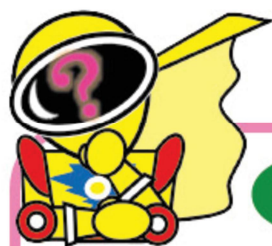
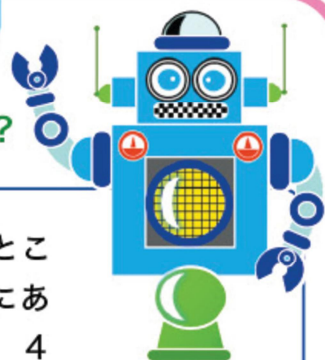
高屋町と流岡町が接する七宝山のふもと、標高50mのところ



鹿隈かんす塚古墳の竪穴式石室

にあります。観音寺市にある古墳の中では最も古く、4世紀につくられたと考えられています。直径27.6m、高さ3.5mの円墳です。この古墳は、竪穴式石室が2つあり、そのうちの一つから、女性の頭骨が発見されました。

また、この古墳の周辺には、20あまりの石棺があることも分かっています。



Q2 鹿隈かんす塚古墳からは、どんなものが出てきたの？

A2

鉄製の斧や剣、銅鏡、ヒスイやガラスでできた玉などが出てきています。

中には「王」の文字が刻まれた鏡の一部も出てきています。この鏡は、3世紀ごろに中国でつくられ、船で運ばれてきたものだと考えられています。



「王」の文字が見える鏡の一部

たくさんの石棺を従え、この古墳の中央にほうむられた人は、この地域の代表的な権力者だったのだらうなあ。

